

湯梨浜中学校だより



『礼輪笑活（れいわしょうかつ）』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

校長 梅津 寿文

令和2年4月17日

令和2年度 湯梨浜中学校 学校経営方針

1 校訓 『三智創造』

『湯梨浜中学校に特色ある三つの地域の人材が集い、ともに学び、創造性豊かな人間形成をめざし、未来を見据え、「開智（知識を広める）・仁智（思いやりがあって賢いこと）・叡智（すぐれた知恵）」を修めた人材が新たな智を創造する。』

☆この「三智」とは明治の文豪「島崎藤村」の「人の世には三智があり、『学んで得る智』『人と交わって得る智』『自らの体験によって得る智』がある。」という言葉から引用されており、三つの地域（泊・羽合・東郷）の英知が集い、さまざまな体験をとおして学びの質が高まることを願っている。

2 教育目標

- (1) 知育・徳育・体育の向上をめざし、未来を切り拓くたくましさをもった生徒の育成
- (2) 人権を尊重し、人と人とのつながりを大切にし、思いやりのある心豊かな生徒の育成
- (3) ふるさとに関心を持ち、ふるさとを愛し、地域社会に貢献しようとする生徒の育成

3 めざす生徒像

- (1) 【立志】 高い志を立て、その実現のためにもともに学び合い、未来を創り出そうとする生徒
- (2) 【親愛】 自らよりよい人間関係を築き、思いやりを持ち、ともに伸びようとする生徒
- (3) 【創造】 夢や目標に向かって自ら課題を発見し、粘り強く取り組み、課題を追求しようとする生徒
- (4) 【郷土愛】 ふるさとを愛し、地域社会の発展に貢献しようとする生徒

4 本年度の重点課題

(1) 学習に自ら主体的に取り組む生徒の育成に努める

- ① 主体的な学習活動を促進し、協同学習の理念を活かしてともに学ぶ意欲の向上を図る。
- ② 学習規律を徹底させ、授業改善に自ら取り組む学習集団を育てる。
- ③ 家庭学習や授業の学習内容の確実な定着と、より力を高める取り組みを充実させる。

(2) 温かな人間関係づくりを大切にし、生徒自ら魅力的な学校づくりに取り組めるように努める

- ① 温かい心と思いやりをキーワードに、互いに尊重する態度と向上心を養う。
- ② 生徒会活動や短学活を工夫し、日々の生活を振り返りながら取り組める手立てを講じる。
- ③ 生徒自ら楽しめる活動を企画させたり、ふるさとに貢献できる活動に取り組ませる。

(3) 保護者や専門機関等とのつながりを深め、長期欠席が生まれないように努める

- ① 保護者との連携を大切にし、小学校や地域との連携を深め、早期に丁寧な対応を心がける。
- ② 教育相談員・SC・専門機関等との連携を充実させ、組織的で的確な支援対策を講じる。
- ③ 仲間づくりを充実させ、SSTやhyper-QU等を活用して個に応じた支援体制の強化を図る。

★裏面へ →

◆ 経営の重点と具体的な取り組み（ホームページに詳細を掲載）

- ①学習指導の充実 ②人権教育の推進 ③道徳教育の推進・文化的環境の充実
④特別支援教育の充実 ⑤学級・学年経営の充実 ⑥生徒指導の充実 ⑦健康と体力の増進 ⑧特別活動の充実 ⑨小・中連携、保護者・地域社会との連携

◇「校長の想い」として「**礼輪笑活(れいわしょうかつ)**」：令和・開校2年目もこのテーマ

①豊かな自然&音楽に囲まれて、元気な笑顔と笑い声に満ちあふれている学校

②礼節と人の輪を大切に、生き活きと活動している生徒たちであふれている学校

日本人の良さである礼節（礼儀に節度加えられ、心が伴っているのが礼節であり、社会生活の秩序を保つために必要とされる行動や作法を表す）をしっかりと身につけ、『あいさつ』や仲間・学級・部活動などの『人の輪』を大切にすること。そして、つくり笑いではなく、心の底から湧き出るような自然な笑顔と笑い声、生き活きと活動する姿があふれている学校づくりをめざします。努力が実ったり苦しいことを乗り越えた時に味わえる充実感や達成感をたくさん体験させ、「楽しさや喜びを感じた時に、自然に浮かぶ最高の笑顔であふれている学校づくり」に取り組みます。また、中学卒業後にすぐに社会人となる生徒もある中で、部活動や高校入試の面接指導等々で「心身をたくましく鍛える場」の設定も行います。各ご家庭での礼儀や言葉遣い等の社会性を身につけるご指導もよろしくお願いいたします。

《教職員の取組》

・教職員自らそれぞれの授業、学級・学年・部活動等の活動内容の工夫をする。

- ①「生徒同士の関わり合い」を大切に、生徒自らわかる授業・楽しい授業づくりに取り組み、着実に力をつけて充実感が感じられる授業を積み上げる。
- ②生徒自らが協力して取り組みを進め、一人一人が活躍できる場面をできるだけ多く設定する。各行事をとおしてリーダーを育成する。

《生徒の取組》

・自ら進んで行動し、「楽しめる学級づくり・わかる学習・力のつく部活動」等に取り組む。

- ①就寝前までに「明日、学校で楽しめることを考えておく」（授業中の発表・質問、休憩中の遊びや会話、部活動等でできるだけ多く。予習・復習もその一つ）ワクワクするくらいに！
- ②登校してから、前日に考えたことを一つずつでも実行に移す。
- ③休憩時間や授業、学級や部活動などで楽しいことを見つける努力をする。（お互いの良いところ・「ありがとう」をたくさん見つける。）
- ④終学活や翌日の朝学活の1分間スピーチ等で伝える。（伝えたい気持ちを大切にする）
- ⑤毎日、「学習計画ノート」に一日を振り返って「楽しかったこと」を1つ以上を記入する。



《上の写真は「生徒会オリエンテーション」のようすです。 ※今年は感染症対策のため、全校での集会を止めて各教室で行いました。》